

# 広報常任委員会活動報告

## 広報の目的は「町づくり」

平成29年度 町村議会  
広報クリニック

(於：東京)

7月5日、全国町村議員会館（東京）で開催された平成29年度町村議会広報クリニックに出席、翌6日は山形県川西町で研修を実施した。

毎年、全国議会広報コンクールが開催されているが、「川西議会だより」は平成22年度から28年度まで連続して優良賞（26・27年度は最優秀賞）を受賞しており、原稿の作成・編集・町民の参加など具体的な取り組みを勉強することができた。

第1部では「読まれて、伝わり、行動に繋がる」議会広報紙を目指して」として講演があり、第2部では、多くの参加市町村があるなか6町村の議会広報紙についての評価が行われた。当町議会だよりも対象として取り上げられた。

○第1部「議会広報誌の役割」

①広報機能

議会の活動状況を広く住民に情報提供する。

②広聴機能

住民の声をくみ取り、住民と議会の意思疎通を図る。

③議会広報紙の役割

住民と議会の架け橋 ↓ 議会への関心を高めること。

広報の重要性を理解していることが大切である。

○第2部「愛荘町議会だより（29年3月定例会分）」について評価を受けた。

大きな指摘はなかったが

- ①「専門用語に注意すること」
  - ②「写真の大きさ・使い方を工夫すること」
  - ③「リード（大見出し・小見出し）を活用すること」
- などの指摘があり、技術面の未熟さを認識した。
- 毎号「読みやすさ」を意識

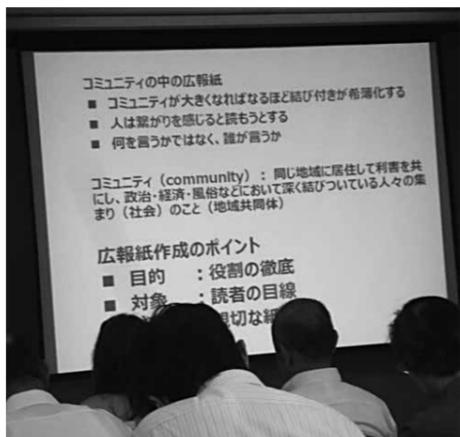
優良県外町村議会  
視察研修

(於：山形県川西町)

「川西議会だより」は、全国議会広報コンクールにおいて毎年優良賞（26・27年度は最優秀賞）に輝いている。

川西町における取り組み

- ①議会だよりの発行は、定例会の翌月15日と決めている。
- ②各議員が広報広聴の重要性を認識しており、常に議員の資質の向上に努めている。
- ③全議員が「記者ハンドブック（新聞記者の参考書）」を所持し、文書の書き方に精通している。



町村議会広報クリニック

- ④定例会初日に1回目の委員会を開催し編集日程・編集担当者を決定。閉会日に2回目の委員会を開催、原稿等の提出状況を確認。3回目の委員会では原稿を締め切り、印刷会社へ入稿。
- ⑤印刷会社では、入稿から1週間以内に初校。その3日後に印刷会社会議室において会社の担当者を交えて再校正。
- ⑥議会と町民が一体となった議会だよりを目指し「広報モニター」を地域別に依頼。また、広報アドバイザーとして「写真」「文章」に精通している人に協力を求め

ている。

「広報に対する議員の識見を高めること」「外部の協力を得ることで違った角度からの見方ができ、広報に深みが増すこと」を改めて認識した。

広報以外についても

意見交換をした

- ①平成25年に議会基本条例を制定し、目標として「町民参加の拡大」「政策提言」を掲げる。（先進的であり愛荘町の課題である）
- ②議会活性化の一つとして「予算特別委員会の常設化」を行う。（平成26年度・全国町村議会議長会から特別



「川西町議会だより」の表紙…何回も色合わせ

表彰

町長と議会の関係は二元代表制であり、町民に選ばれた町長を、同じ町民から選ばれた議員が監視牽制を行う。町長には、予算の編成権・執行権という大きな権限がある。

予算の議決権は議会のみが有するものであり、議決なくしては予算の確定・執行はできない。そのため慎重な予算審議が求められる。

愛荘町でも、年度途中において往々にして補正予算が上程されるが、予算特別委員会のような審議ができていない。川西町では補正予算についても特別委員会で審査している。

③情報公開は、議会、各種委員会、全員協議会など全てを対象としている。

④広聴活動として、町民との意見交換会を実施。

意見交換を基に町に対して政策提言を行い、1年後に検証。

⑤議案の殆どを委員会付託している。これにより、執行部との間で高度な議論ができる。

この研修を受けて、7月25日当町の議会だよりのあり方



川西町広報委員との意見交換

について比較検討を行った。「発行は定例会の翌月とする」「編集に関する覚えを作成する」「委員全員のレベルアップを図る」「写真の使い方を工夫する」など、直ぐにできるものは次回定例会から取り組むことを決定。対外的なものには引き続き検討することとした。

も、改めて議員の自分を「初心忘れるべからず」である。また、議会のシステムについても参考となるところが多くあった。「井の中の蛙」意識を捨て、よいところはスピードをもって取り組んでいかなければならない。

広報常任委員会

- 委員長 西澤 桂一
- 副委員長 上林 村治
- 徳田 文治
- 河村 善一
- 小杉 和子
- 瀧 すみ江

川西町での感想

議員の使命である「この町を良くする」との目的意識を全議員が持って、平素から積極的に勉強されている。我々